

助成受給団体名	ふりがな けせんちくぼうはんきょうかいいれんごうかい 気仙地区防犯協会連合会
事業の名称	高齢者を守るための広報啓発事業
実施期間	平成 27 年 8 月 1 日～同 28 年 3 月 31 日
実施した事業の内容 特殊詐欺の被害者は高齢者が多く、しかも金融機関において自己の預金口座から高額な現金を払い戻す等して被害に遭っているケースが多いことに着目し、現金を払い戻す際に、思いとどまる機会をつくることで被害防止につなげることを目的に、「特殊詐欺被害広報文」等を印刷したオリジナルメッシュポーチを作成し、そのポーチに通帳や印鑑を入れ、日頃から目に触れることで防犯意識を高めてもらう活動を展開した。	
事業の成果 いかにして被害に遭いやすい高齢者に対し、啓発メッセージを目にとどめて防犯意識を高めてもらうか・・・という大きな課題を考えながら、各種イベントや防犯講話等の際には、「こちらのポーチに通帳を入れていただき、金融機関でお金を引き落とす時などは、『詐欺じゃないか』とひと呼吸おいて考える機会にしてほしい」等と丁寧な説明を加えながら配布したことで、平成27年中の大船渡警察署管内の特殊詐欺被害は、本事業前に発生した被害以降の被害が皆無であり、大きな成果を得ることができた。 その成果の一端には、当該ポーチの中に「特殊詐欺被害防止広報文」だけでなく、大船渡警察署のオリジナルキャラクター「防犯戦隊ケセンジャー」のイラストを組み入れる等、親しみやすいものと工夫したことで、警察をより身近に感じてもらう効果が上がり、些細なことでも警察に相談し易い環境作りに貢献することが出来た。	
今後の課題 特殊詐欺被害防止活動の成果は、日頃からタイムリーな情報発信活動による注意喚起と、被害に遭いやすい高齢者等に対する地道な防犯指導を継続することによって絆が生まれ、そうした土壌のもとに生かされてくることから、直接語りかける防犯講話等を通じ、いかに関心を高め、いかに心にとどめてもらえるかを考えながら、工夫を凝らした活動を継続していくことが課題である。	

